

8月4日(土)阿蘇地域の豪雨災害復興募金に取り組みました！

平成 24 年 8 月 24 日 (木)

8月4日(土)朝10時前から午後2時ごろまで、大観峰茶店前の広場で、阿蘇草原再生協議会メンバー27名が集まって大きな声で元気よく活動しました。



こんなプラカードも！

当初は、阿蘇草原再生募金活動を計画していましたが、7.12豪雨災害で大変深刻な被害を受けた阿蘇地域の人々の気持ちに寄り添い、その復旧復興のために少しでもお役に立てれば、ということから8月3日(金)に開催された第30回阿蘇草原再生協議会幹事会において、募金の目的を変更し、取り組むこととしました。



呼びかける子ども達と、募金してくれる子ども達。

当日は、土砂崩れで通行止めだった国道212号が、2週間前から片側通行が出来るようになったこともあり、少しずつ観光客の足も戻りつつあるようでした。そのためもあって、朝から全国各地からの観光客のみなさんとたくさん出会うことができました。その結果、合計 **186,993** 円の募金が寄せられました。



夏休みということもあって、家族連れや貸し切りバス客、バイクライダー、カップルなどから多くのあたたかい励ましの言葉もたくさんいただきました。

中でも、福島から観光の男性に「私たちも、熊本の人たちに助けてもらったので、恩返しをしたい」とか、東京から家族旅行の女の子から「大好きな阿蘇が、早く元気になって下さい」などの言葉をいただきました。



募金箱・ポスター・看板などを揃えて、大きな声でPRしました。(写真左は高橋佳孝会長)

このような篤い気持ちを添えて、阿蘇地域の特に被害のひどかった4つの被災市町村(阿蘇市、産山村、高森町、南阿蘇村)に配分し8月24日にお届けしました。



一日も早い復旧と復興を願いながら、「草原の維持と再生」の活動に取り組んで参ります。
【左写真は当日参加



阿蘇市



高森町



産山村



南阿蘇村

各市町村へ募金のお届けの様子